

其後其園舎は本校の家事科の實習室となり、分園は幼稚園第二部を改稱されて昔の通り裏門に近き三間に四間の木造の一棟を本園の小使室に近き一室に收容される事となつて、専屬の遊具は砂場をプランを小道具だけとなつたが、遊戯室は本園と一緒にピアノ音に浮き立つやうになり天然物は梧桐や銀杏の實を採收するの藤の葉柄を拾ふ事に限られて保育の内容も幾分手技手工を多く加ふるやうにはなつたけれど、兎に角經費少くして最も將來ある方法を講じて居つた事でしたが、今から見れば階級の念が顯著であつたかも知れません。何故かなら、一部を二部と接近すればする程教生の中にてさへ、二部を好まぬ人もあり、幼児自身も一部の幼児を見て一部の方を尊稱し一目も二目も置いて居た事は事實でしたから。そして實際、生活戦線の闘士でなければ勤まり兼ねる激賊でしたから。

保育實習科第一回卒業生(明治十三年頃)

小林 とし

長き歴史を有する御茶の水幼稚園の新舎に移轉の事は慶賀に堪えぬ事と存じますが、願れば永き年月、此懐かしき園舎庭園並に小さき芽生が今は大やうに樹木を成りし此光景を視ては情に於て忍び得ざる事と存じます。然し新園舎に向ては大なる希望に充ちた思ひを荷ひ多くの幼稚園に模範を御示しに成る事をおよろこびしてお待ち申して居ります。

授私共の思ひ出さ申しても餘り長く生きたるゆへ何も記憶に残るものにては御さいません。さりさめて記する程の事も御さいませんが、一二を記しますから御取捨を願ひます。

明治十一年三年の頃は幼稚園を理解して居る者は少數故從て貴顯富豪の子女のみたりし。保育はフレーベルの二十恩物にして唱歌は雅樂所作なるが故に幼児に興味薄く自然言葉が六ヶ敷幼児には至難なりとお思はれました。

十二年よりはメイソン先生の唱歌により少しく興味を添へた感もありたり。然し是も幼児に於ての作に非らざれ

ば到底只今の比に非らざりし。

机の上に方形を畫くし又石盤も同様にて是を使用す。此の方形は積木板排箸等を置くに便ならしむる爲なものでした。手杖もしても幼児相當に云ふ目標なく、織紙でも大形で縦線細く幼児には不適當なりと思はる。其他も幼児に至難なるもの故従つて保姆が助けるに云ふ事に成り勝なり。

春の候庭園にて遊びし時クローバの花を摘みて花輪にして首輪腕輪などに作り各兒自から作られし時なごは嬉々としてよろこび遊ぶ様子の愛らしくみえました。

又藤棚の下に遊ぶ時は此花を拾ひまゝごこをして遊ぶときは東の御殿に参るに西の御殿から頂きました申されたり。是は岩崎さんの令嬢でした。

此時代は便利な電車自動車のなき時代故、西郷さんは洋服を着、曳馬に乗りて通園せられたり。其様子の優らしくありました。

關先生の事を少しく書かして頂きます。

先生は人格者にて信に尊敬すべき方でありました。幼児を愛し又實習生を良く指導された、良師でありました。又幼稚園に熱誠であられました。先生の幼稚園を設立されしには非常なる困難なりし事を御話してありました。夫は昔の事ですから當局の方でも學校の方でも幼稚園に理解有る方は無いと申してもよい位でございましたから。先生の御苦心は容易でなかつたことゝ存します。

不幸にして先生は病を得られたるも押して御出勤でしたがだんく病ひ重く成られたるも、病にもひるむごこなく幼児を愛し私共にも御教訓くださいました。然るに病は進み遂に病床の人になられました。依て私共は度々御見舞致しました。何時も御悦びにて良く御話しをしてくださいました。是も僅かの間に御危篤に成られ面會謝絶の哀しき報に接し

ました。私共は居ても立てても居られずせめて御面會は成らずも蔭にて御伺ひ申さんご二三の者ご御見舞致したら是非會ふこの事で御見に掛りましたが衰弱甚だしくお口も常の様になく實に哀しき御様子に見うけました。果せるかな翌日遂に御他界になりました。

先生は園の爲め幾多の思を胸に納め、又御家庭ごしては御子様は少く、思へば先生は萬感の思ひにてなやみに々永眠せられたる事を思へば胸が一ばいに成り止めごもなく涙が出ておさへるごが出来なかつたのです。此の師の君に幸なき事は残念に思ひました。然し今は幼児保育に至ては世界的良師の倉橋先生が御出に成り保姆の養成に御盡しくくださいますから關先生も地下に於て定めし暝福せられたるごご信じます。

關先生の功績を思ひて私共心ばかりの碑を建てました。形はフレール先生のお碑の如く、立方體圓柱體圓體を組合せたものを谷中のお寺に建てました。



保育實習科第二回卒業生(明治三十年頃)

山 口 政 子

今年十一月二十九日開校第五十八回の記念式を舉げられましたお茶の水女子高等師範學校は去る大震火災のためにこのなつかしい名のお茶の水幼稚園は愈々本年末二十四日のお集りを終りまして大塚の新園舎にお引移りになるご云ふ。園舎の壯麗ご設備の完全なる此新園舎に新年をお迎へ遊ばす諸先生方又は幼児の皆様の御芽出度御移轉を御祝福申上げ度ご存じます。

しかしながら凡てのもの運び終られてきて空虚な園舎に終りを告げられて一步一步園舎に遠ざかりゆかれる時の御淋しさを深くも偲はれる御事でせうご存じます。かゝる折古き思ひ出を送れごのお言葉でありました。けれども四十年の昔